小淵沢町埋蔵文化財調査報告書　第10集

平成10年度
小淵沢町内遺跡
埋蔵文化財調査報告書

1999

小淵沢町教育委員会

序　　文

小淵沢町は、広大な八ケ岳山麓に位置し、自然の環境に恵まれた町であります。また、埋蔵文化財も多く、特に縄文銀座ともいわれるほど縄文時代の遺跡が多く発見されています。近年、開発の中心が町の周辺部に移り宅地開発や個人住宅、別荘建設等が急ピッチで進められております。このような開発に伴い、貴重な先人の遺産である文化財を保護するため、当町では遺跡の周知作業と、どうしても破壊消滅してしまう遺跡については発掘調査を行って記録保存する方法をとっています。本報告書は、このようにしてまとめた平成10年度の結果報告であります。

本書が多くの方々に活用され文化財の保護と活用に資するならば、幸いです。

平成10年度の調査にあたり、ご協力頂いた地元の地権者の方々、ご指導を賜った関係各位に厚くお礼申し上げます。

1999年３月

小淵沢町教育委員会

教育長　　名執昭二

例　　言

1．本報告書は、平成10年度事業で行った、小淵沢町内遺跡発掘調査報告書である。

2．調査は小淵沢町教育委員会直営で実施した。調査組織は以下のとおりである。

調査主体　小淵沢町教育委員会

調査組織　教育長　名執昭二

教育課長　清水慎一

担当者　佐藤勝廣

3．調査経費は、平成10年度文化財保存事業費として、国宝重要文化財等保存整備費補助金、山梨県文化財保存事業費補助金、町費があてられた。

4．本書の作成・執筆・編集は佐藤勝廣が行った。

5．本報告書の出土品及び諸記録は、小淵沢町教育委員会が保管している。

6．調査・報告書作成にあたり、下記の諸氏から御指導・御協力をいただいた。記して、感謝申し上げる次第である。（敬称略）

小野正文（山梨県教育庁学術文化財課）

森原明廣（山梨県教育庁学術文化財課）

櫛原功一（帝京大学山梨文化財研究所）

北巨摩文化財担当者会

目　　次

序　　文

例　　言

1. 天神宮遺跡 …… 5

2. 岩窪遺跡 …… 6

3. 上前後沢第2遺跡 …… 7

4. 耕地久保遺跡 …… 8

5. 高野遺跡 …… 9

6. 西堀込北遺跡 …… 10

7. 殿平遺跡 …… 11

8. 上八里田遺跡 …… 12

9. 前窪8712-2番地遺跡 …… 13

10. 上前後沢4267番地遺跡 …… 14

11. 源氏籠781番地遺跡 …… 15

12. 夏秋2538-20番地遺跡 …… 16

13. 横大道遺跡 …… 17

写真図版

1. 天神宮遺跡

所　在　地

小淵沢町字天神宮3353-13番地

3353-16番地

開発主体者

西　本　正　幸

開発事業名

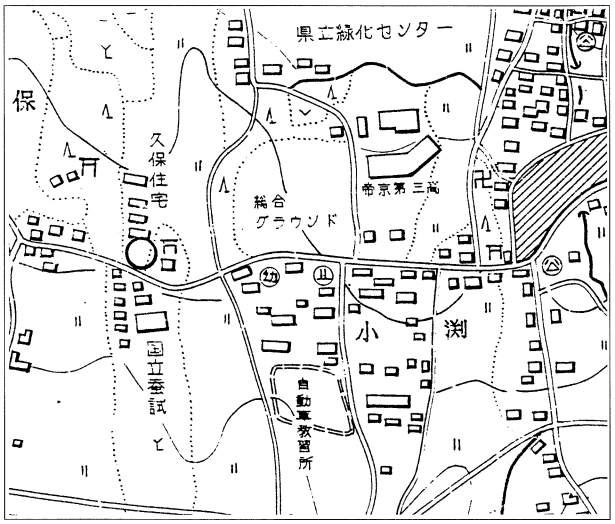
個人住宅建設

調 査 期 間

平成10年５月11日～５月14日

調 査 面 積

120.49㎡



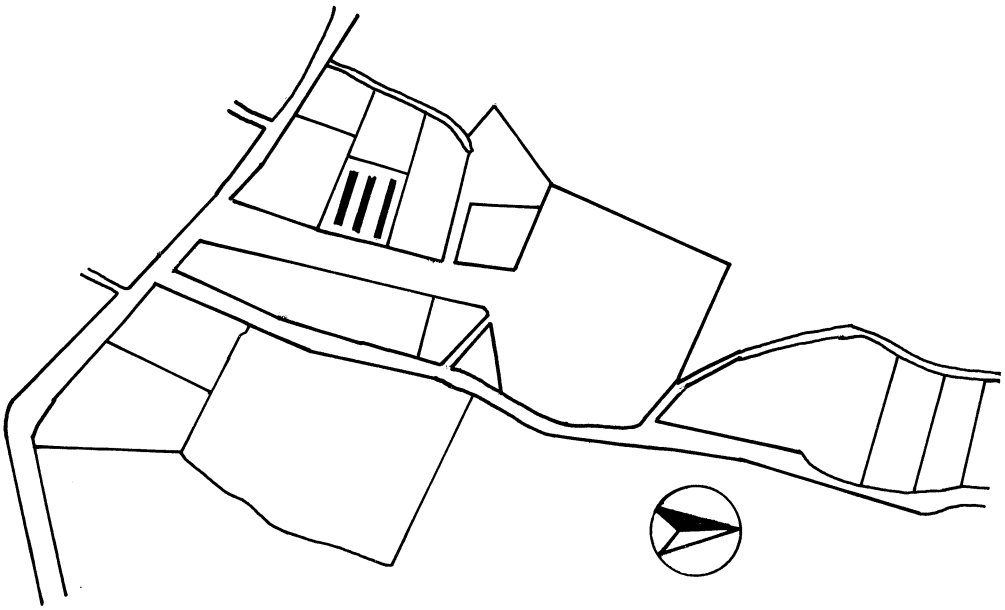
天神宮遺跡位置図（○印）（1：10,000）

立地と経過

天神宮遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町字天神宮に所在し、町西部、標高840m付近に位置する。東側に菅原道真を祀る北野天神社が鎮座する。今回、当地で個人住宅が建設されることになり、試掘及び本調査を実施した。

調査の結果

建設に際し掘削が予定される、建物部分について、幅約１mのトレンチを３本西方向に設定し、遺構の確認を行った。その結果、少量の中世土器が出土したが、遺構は確認されなかった。



天神宮遺跡 トレンチ設定図（1：3,000）

2. 岩窪遺跡

所　在　地

小淵沢町字岩窪前4824-1番地

開発主体者

藤　原　正　次

開発事業名

倉　庫　建　設

調 査 期 間

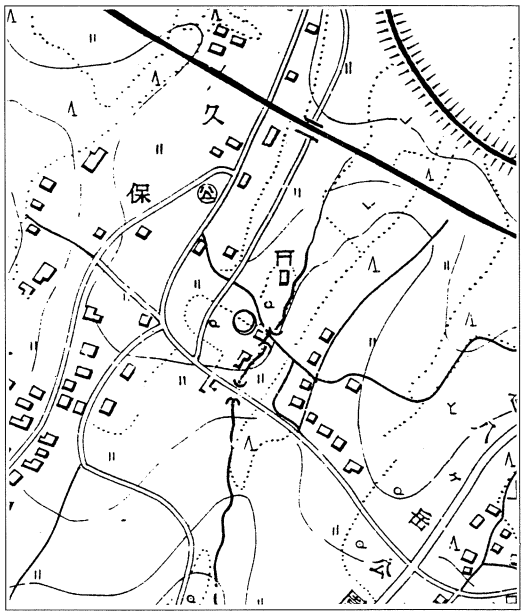
平成10年6月16日

調 査 面 積

40m²

立地と経過

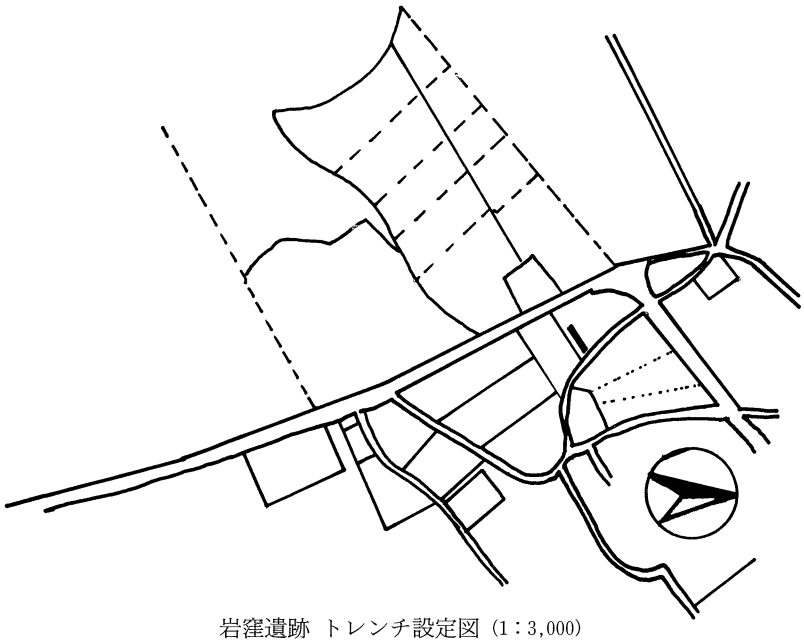
岩窪遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町字岩窪前に所在し、町西北部、標高850m付近に位置する。今回、当地で倉庫建設が計画されたため、事前に試掘調査を実施する必要が生じた。



岩窪遺跡位置図（○印）（1：10,000）

調査の結果

踏査を行い、僅かに縄文中期の土器片数点を採集した。いずれも細片で図示できる資料はなかった。掘削が予定される、建物部分について、幅約１ｍのトレンチを１本東西に設定し、調査を行った。その結果、遺構・遺物ともに確認されなかった。



岩窪遺跡　トレンチ設定図（1：3,000）

3.　上前後沢第２遺跡

所　在　地

小淵沢町字上前後沢4253-2番地

開発主体者

喜　多　　学

開発事業名

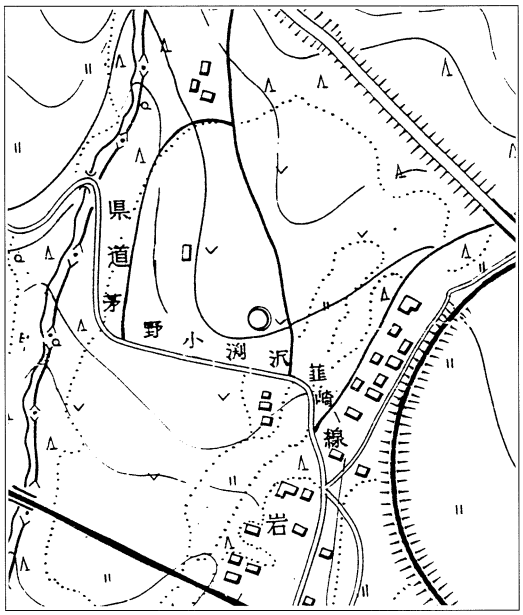
個人住宅建設

調 査 期 間

平成10年７月１日～７月13日

調 査 面 積

494.16㎡



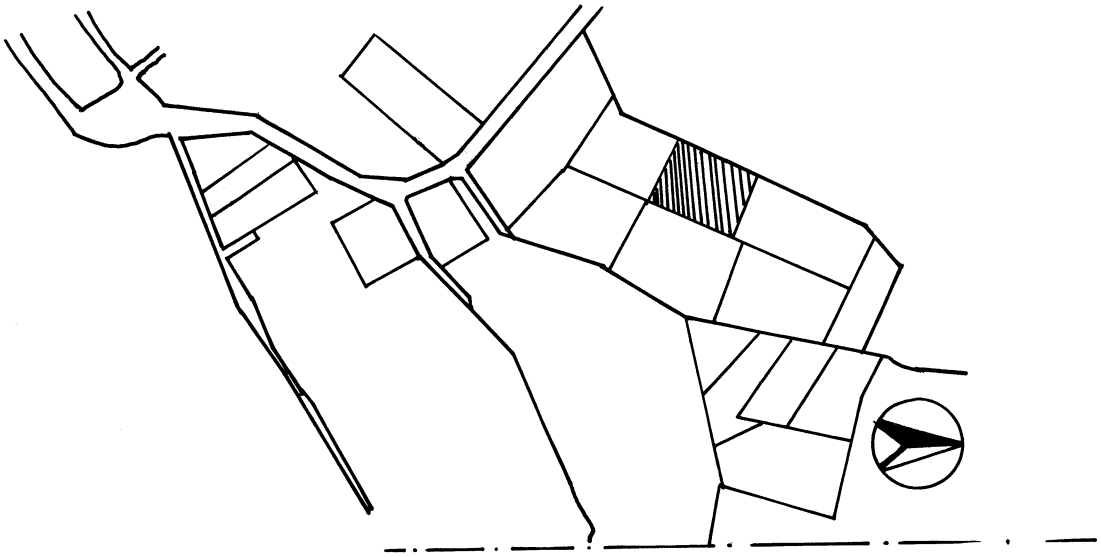
上前後沢第２遺跡位置図（○印）（1：10,000）

立地と経過

上前後沢第２遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町字上前後沢4253-2番地に所在し、甲六川東側の標高940m付近に位置する。現在は白樺が植えられている。過去実施された調査の結果、縄文時代の土壙１基、おとし穴状遺構２基が確認されている。

調査の結果

住宅建設に際し、掘削が予定される、建物部分について重機で表土剝ぎを実施し、調査を行った。その結果、弥生前期の単独埋甕を確認した。他遺物は、縄文中期の土器片、石器等が出土している。



上前後沢第２遺跡（1：3,000）

4. 耕地久保遺跡

所　在　地

小淵沢町下笹尾字耕地久保783-2番地

開発主体者

前　島　太　吉

開発事業名

倉　庫　建　設

調 査 期 間

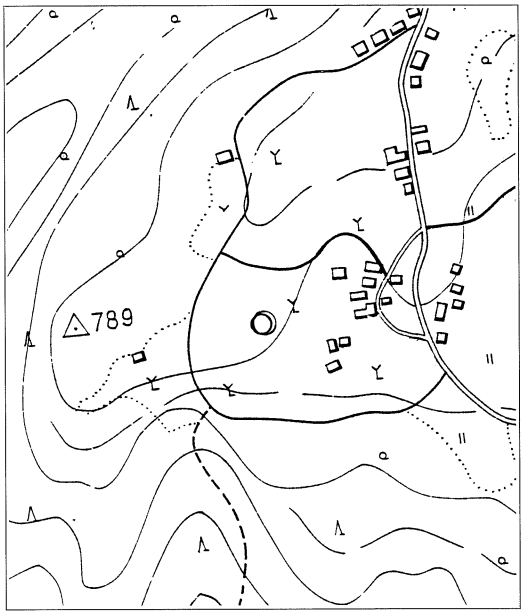
平成10年7月2日

調 査 面 積

69.56㎡

立地と経過

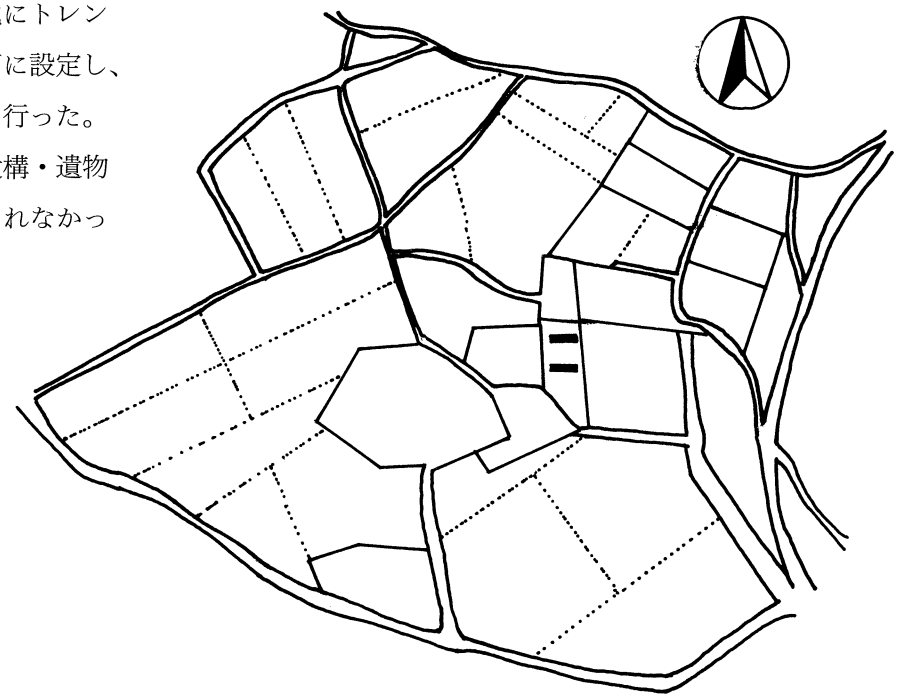
耕地久保遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町下笹尾字耕地久保783-2番地に所在し、標高810m前後を測る。当遺跡の南約500mには武田信虎が築いたとされる笹尾墨跡が存在する。今回、前島太吉氏による倉庫建設工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため調査を行った。



耕地久保遺跡位置図（○印）（1：10,000）

調査の結果

倉庫建設地にトレンチ2本を東西に設定し、遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物ともに認められなかった。



耕地久保遺跡　トレンチ設定図（1：3,000）

5. 高 野 遺 跡

所 在 地

小淵沢町字船窪6813・6814-1番地

開発主体者

松 本 孝 子

開発事業名

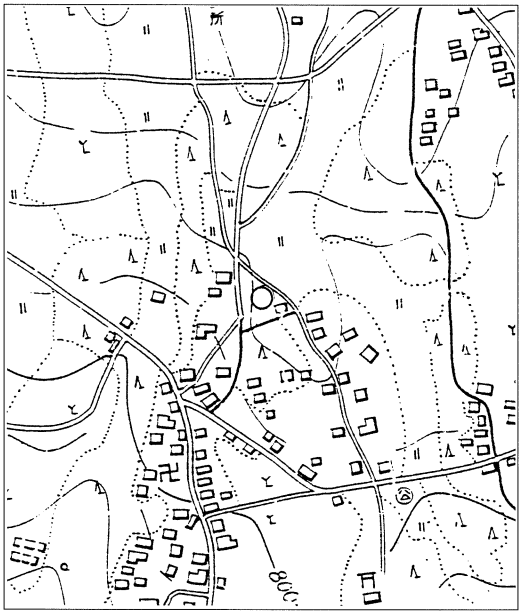
個人住宅建設

調 査 期 間

平成10年７月14日～７月21日

調 査 面 積

59.62㎡



高野遺跡位置図（○印）（1：10,000）

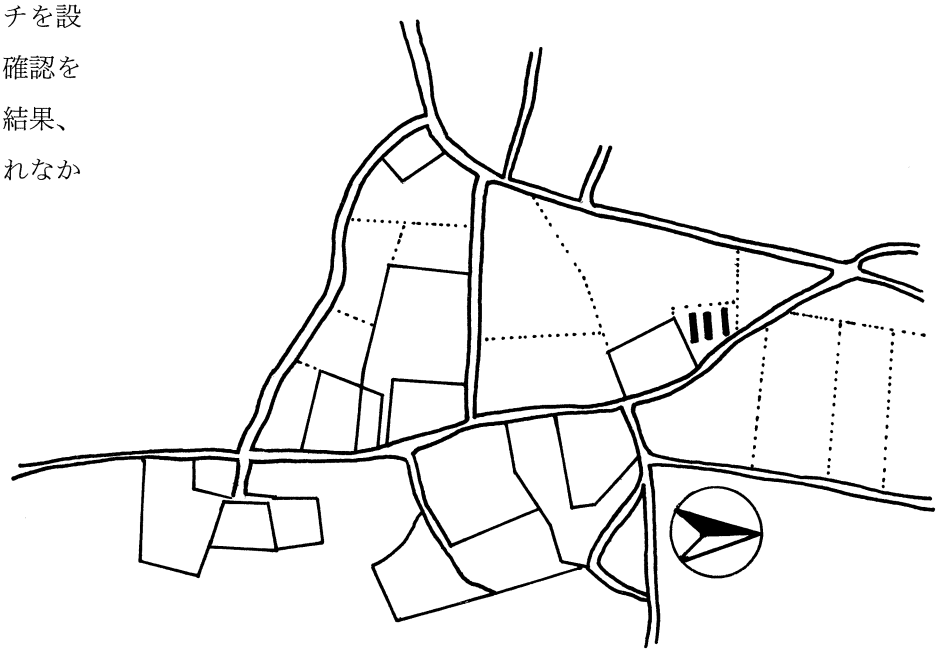
立地と経過

高野遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町字船窪6813・6814-1番地に所在し、標高は810mを測る。当遺跡の約200m付近で昭和60年に行われた県営住宅建設に伴う事前試掘調査で旧石器のナイフ型石器が検出された。

今回、松本孝子氏による住宅建設が行われることとなり、遺構の有無を確認するため調査を行った。

調査の結果

住宅建設予定地に２本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。その結果、遺構は検出されなかった。



高野遺跡 トレンチ設定図（1：3,000）

6. 西堀込北遺跡

所　在　地

小淵沢町上笹尾字西堀込187-85番地

開発主体者

越　智　幸　一

開発事業名

個人住宅建設

調 査 期 間

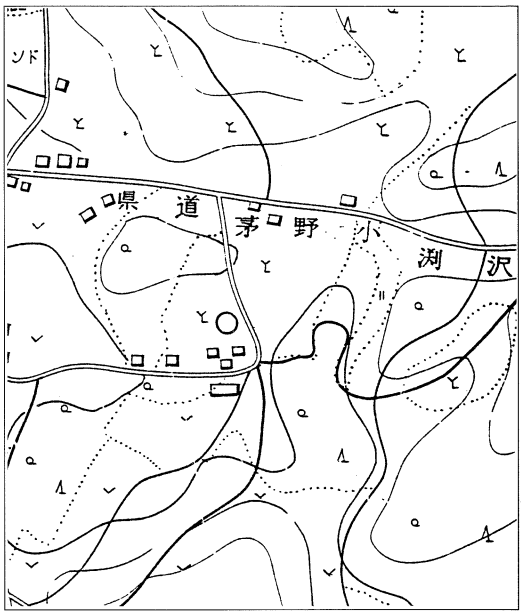
平成10年７月21日～７月22日

調 査 面 積

44.76㎡

立地と経過

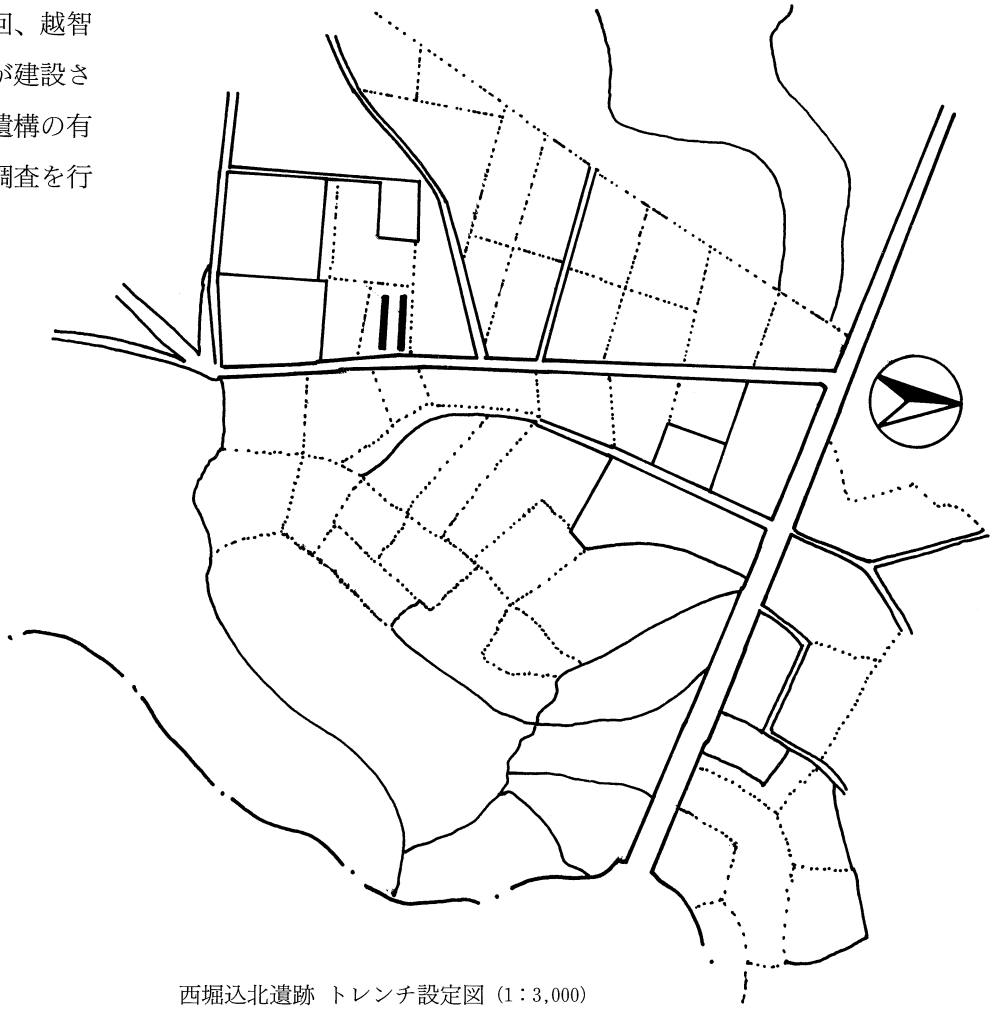
西堀込北遺跡は、小淵沢町上笹尾字西堀込187-85番地に所在し、標高810mを測る台地上に位置する。調査地周辺は近年開発が進んでいる地域で別荘が多く建設されている。今回、越智幸一氏による住宅が建設されることとなり、遺構の有無を確認するため調査を行った。



西堀込北遺跡位置図（○印）（1：10,000）

調査の結果

調査地に東西方向のトレンチを２本設定し、精査を行ったその結果、少量の縄文中期の土器片と石器が出土したが、遺構は検出されなかった。



西堀込北遺跡　トレンチ設定図（1：3,000）

7. 殿 平 遺 跡

所 在 地

小淵沢町6897番地

開発主体者

雪印乳業株式会社チーズ研究所

開発事業名

倉 庫 建 設

調 査 期 間

平成10年7月29日

調 査 面 積

31.10㎡

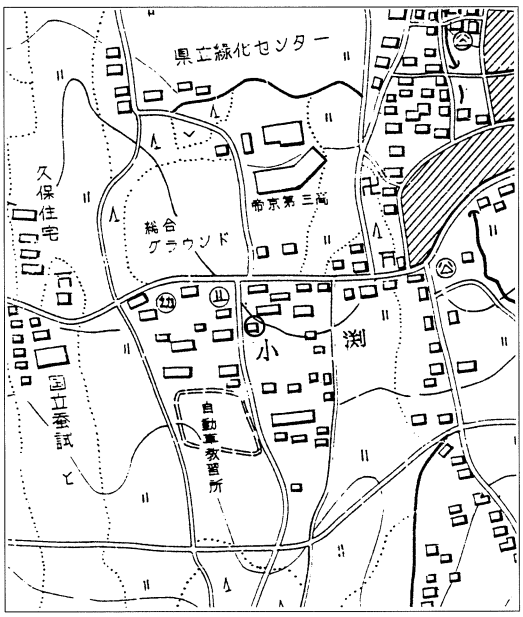
立地と経過

殿平遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町6897番地に所在し、標高850mを測る。

昭和45年頃、小学生が本調査地の南約300mの道路建設地で縄文中期の土器片数十点を採集している。今回、雪印乳業株式会社チーズ研究所による倉庫の建設が計画されたため調査を実施する必要が生じた。

調査の結果

倉庫建設地にトレンチ2本を東西に設定し、遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物ともに認められなかった。



殿平遺跡位置図（○印）（1：10,000）

殿平遺跡 トレンチ設定図（1：3,000）

8. 上八里田遺跡

所　在　地

小淵沢町字上八里田8041-1番地

開発主体者

進　藤　光　雄

開発事業名

畑　　耕　作

調 査 期 間

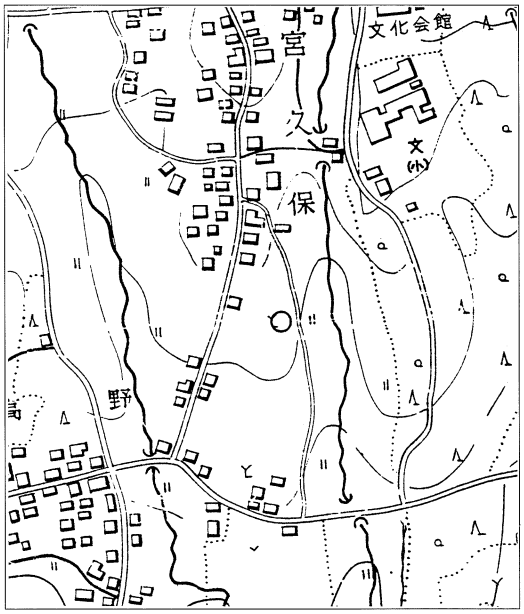
平成10年7月31日～8月17日

調 査 面 積

3㎡

立地と経過

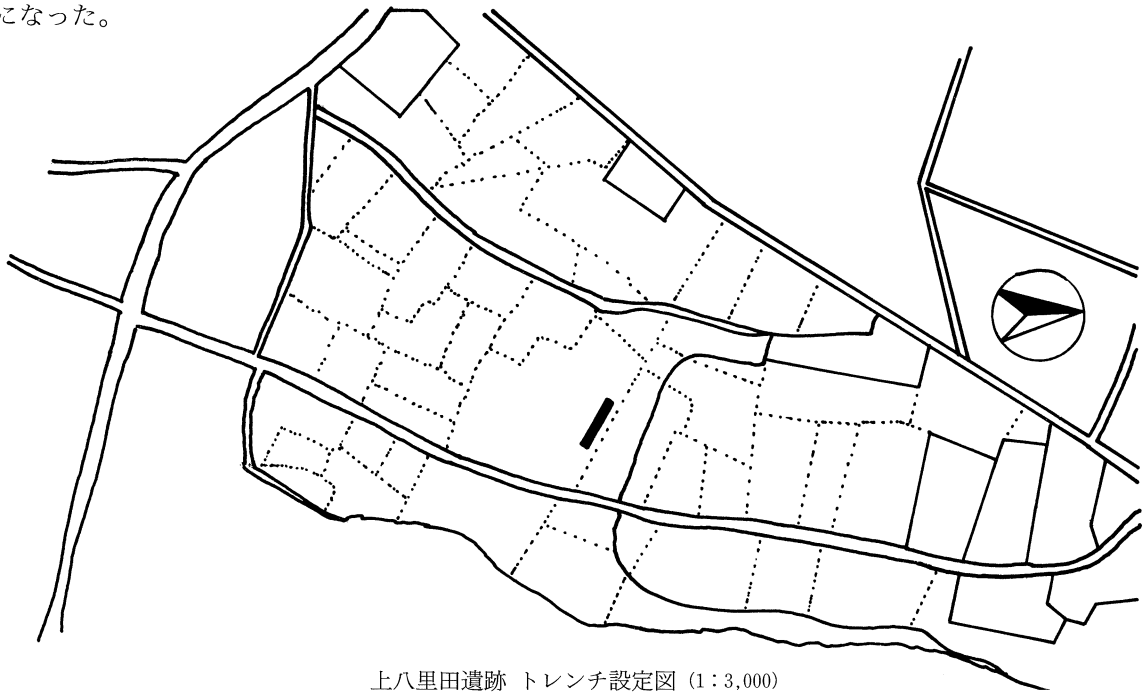
上八里田遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町字上八里田8041-1番地に所在し、標高820mを測る台地上に位置する。今回、土地所有者である進藤光雄氏から畑を耕作中に陥没し、大きな穴が開いたので調査してもらいたいとの、問い合わせがあり、調査に至った。



上八里田遺跡位置図（○印）（1：10,000）

調査の結果

調査は、陥没した穴の精査を中心に行った、その結果、穴は地下式土壙と判明し、土壙内から内耳土器片・かわらけ片・宝篋印塔の九輪部・石臼片・石鉢が出土した。調査後、地下式土壙は保護されることになった。


上八里田遺跡　トレンチ設定図（1：3,000）

9.　前窪8712-2番地遺跡

所　在　地

小淵沢町8712-2番地

開発主体者

平　出　昌　雄

開発事業名

個人住宅建設

調 査 期 間

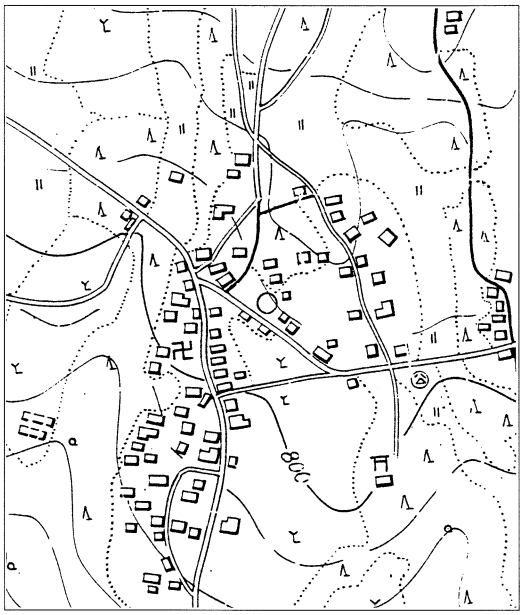
平成10年11月６日

調 査 面 積

73㎡

立地と経過

前窪8712-2番地遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町8712-2番地に所在し、標高800m付近に位置する。今回、住宅建設が計画されたため、事前に調査を実施した。



前窪 8712-2 番地遺跡位置図（○印）（1：10,000）

調査の結果

住宅の建設部分について、トレンチ２本を設定し、調査を行った。結果、極めて微量の縄文土器片を確認したが、遺構の検出はなかった。

前窪 8712-2 番地遺跡　トレンチ設定図（1：3,000）

10.　上前後沢4267番地遺跡

所　在　地

小淵沢町4267番地

開発主体者

干　川　政　人

開発事業名

個人住宅建設

調 査 期 間

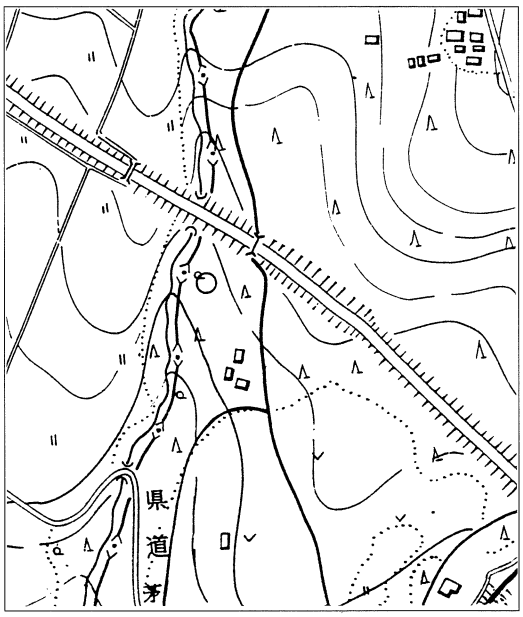
平成10年12月 8 日～12月17日

調 査 面 積

831m²

立地と経過

上前後沢4267番地遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町4267番地に所在し、標高960m付近に位置する。今回、干川政人氏の住宅建設に伴い調査を行った。

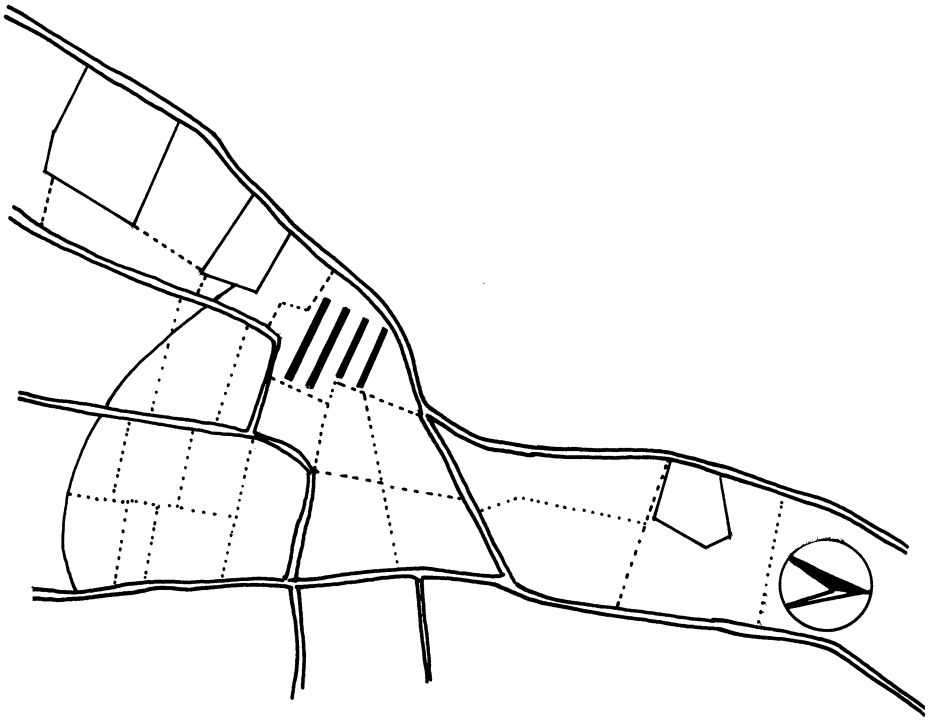


上前後沢 4267 番地遺跡位置図（○印）（1：10,000）

調査の結果

住宅の建設予定地に 4 本のトレンチを設定した結果、東側に溝状遺構が検出されたので重機で表土剝ぎを行い、調査を実施したが、溝は後世につくられたものと判明した。

遺物は、少量の縄文土器片と表採した磨製石斧である。



上前後沢 4267 番地遺跡　トレンチ設定図（1：3,000）

11.　源氏籠781番地遺跡

所　在　地

小淵沢町上笹尾字源氏籠781番地

開発主体者

坂　本　貞　夫

開発事業名

畑　　耕　　作

調 査 期 間

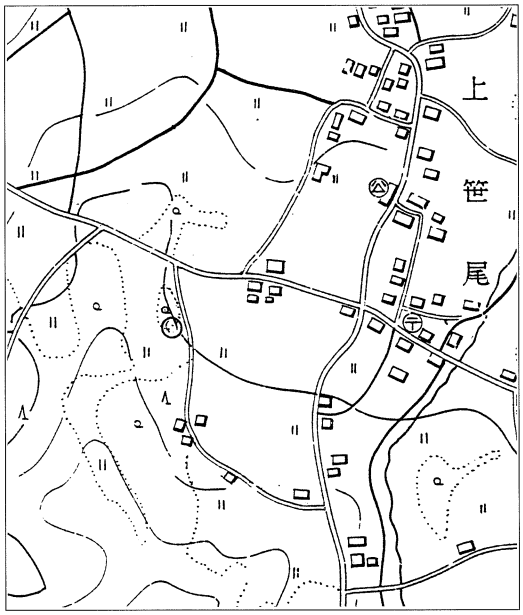
平成10年12月15日～12月25日

調 査 面 積

100㎡

立地と経過

源氏籠781番地遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町上笹尾字源氏籠781番地に所在し標高805mを測り、西側は２標高差８ｍの田切りとなる。今回、坂本貞夫氏より氏の所有する畑を大規模に耕作を行うが、この畑からは従来より縄文土器片がよく出土するので耕作の前に調査をしてもらいたいとの要請があり、調査を実施した。

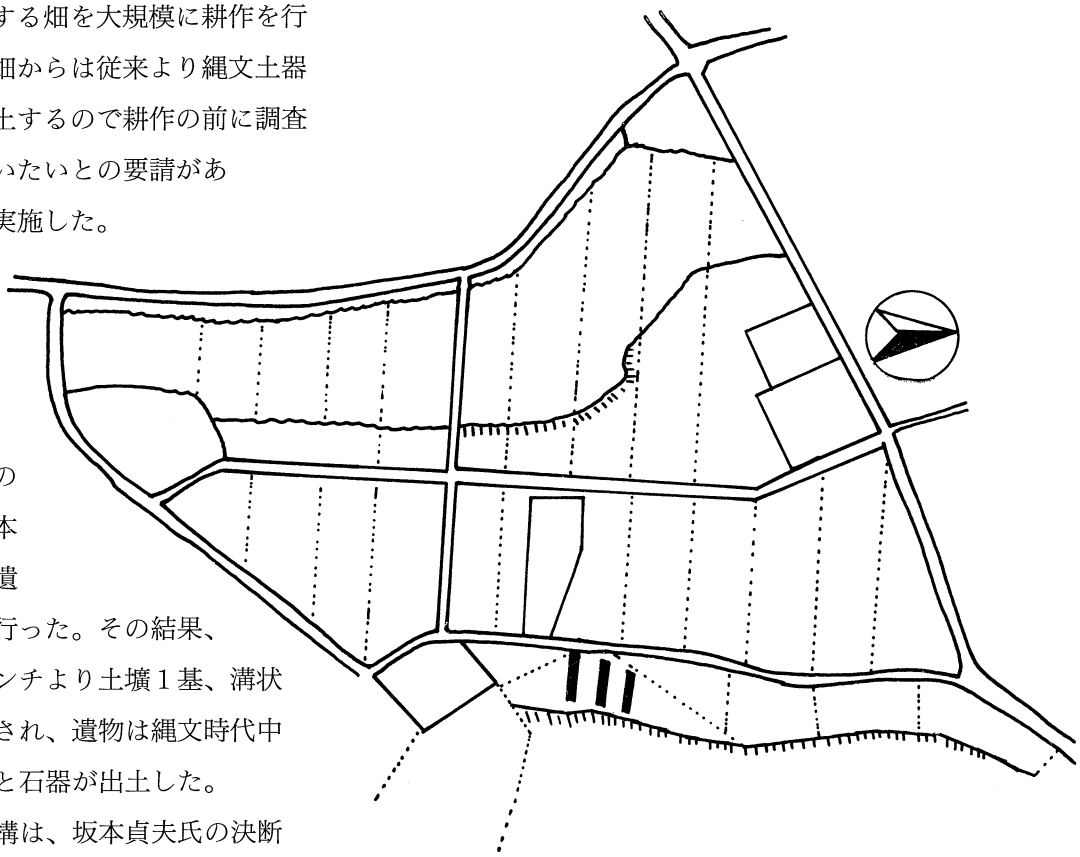


源氏籠 781 番地遺跡位置図（○印）（1：10,000）

調査の結果

畑に東西のトレンチ３本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、２本のトレンチより土壙１基、溝状遺構が検出され、遺物は縄文時代中期の土器片と石器が出土した。

なお、遺構は、坂本貞夫氏の決断で保護されることになった。



源氏籠 781 番地遺跡　トレンチ設定図（1：3,000）

12.　夏秋2538-20番地遺跡

所　在　地

小淵沢町上笹尾字夏秋2538-20番地

開発主体者

梨北農業共同組合

開発事業名

事 務 所 建 設

調 査 期 間

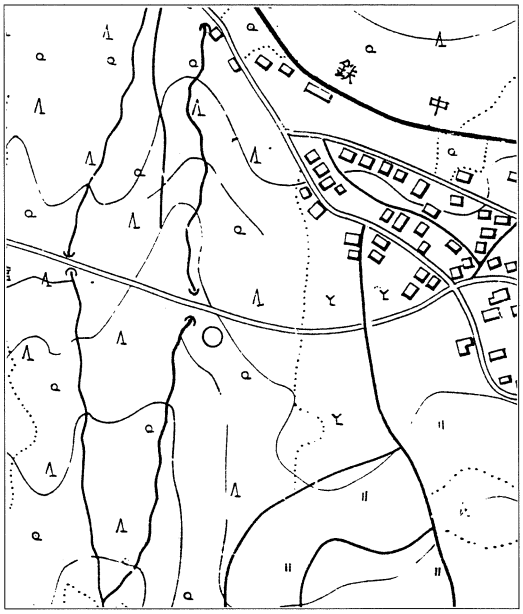
平成11年２月５日

調 査 面 積

95m²

立地と経過

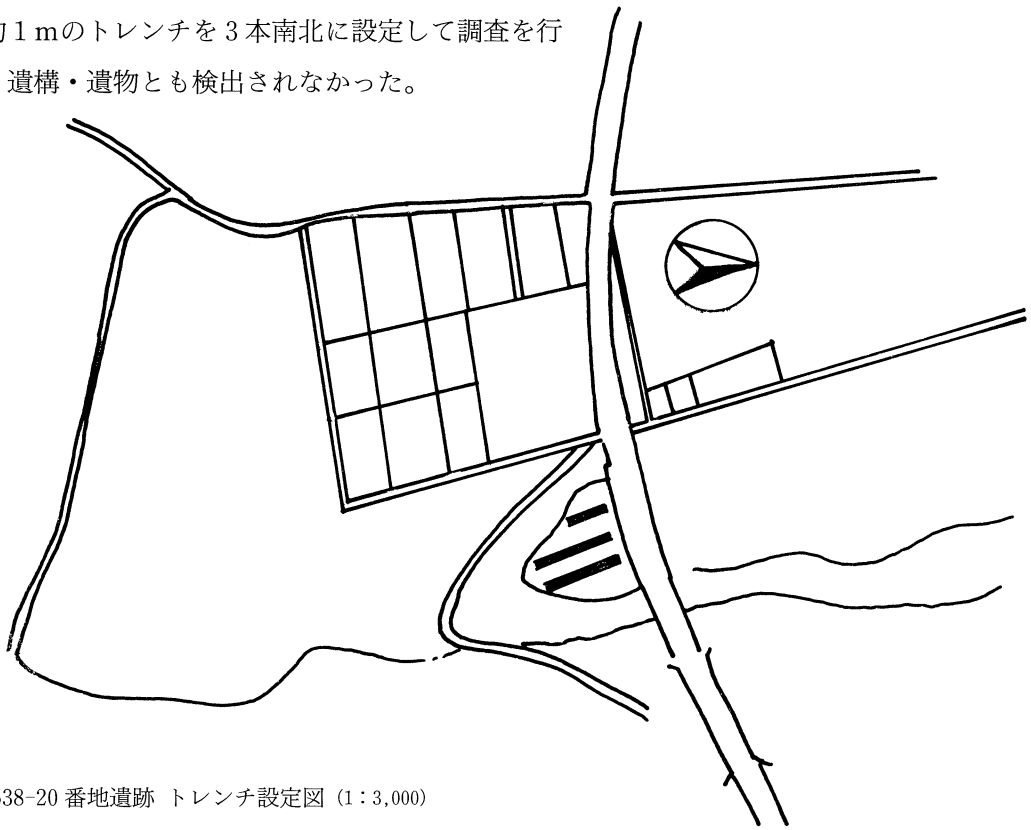
夏秋2538-20番地は、山梨県北巨摩郡小淵沢町上笹尾字夏秋2538-20番地に所在し、標高860mを測り、東側にはライスセンターがある。今回、梨北農業共同組合による小淵沢支所の事務所建設工事が計画されたため調査を実施した。



夏秋 2538-20 番地遺跡位置図（○印）（1：10,000）

調査の結果

重機により幅約１mのトレンチを３本南北に設定して調査を行った。その結果、遺構・遺物とも検出されなかった。



夏秋 2538-20 番地遺跡　トレンチ設定図（1：3,000）

13. 横大道遺跡

所　在　地

小淵沢町7588番地

開発主体者

進　藤　幸　夫

開発事業名

畑　　耕　　作

調 査 期 間

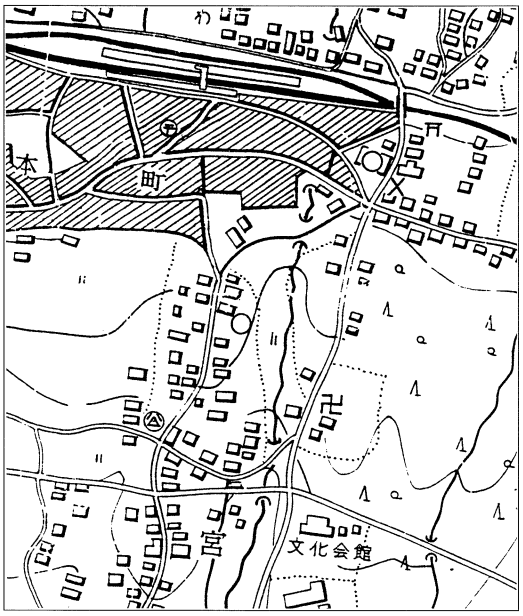
平成11年３月１日～３月31日

調 査 面 積

1,500㎡

立地と経過

横大道遺跡は、山梨県北巨摩郡小淵沢町7588番地に所在し、標高870mを測る、南北にのびる台地に位置する。今回、進藤幸夫氏から畑を開発する予定があるので、遺跡の有無を確認するよう、要請があったので調査を実施した。

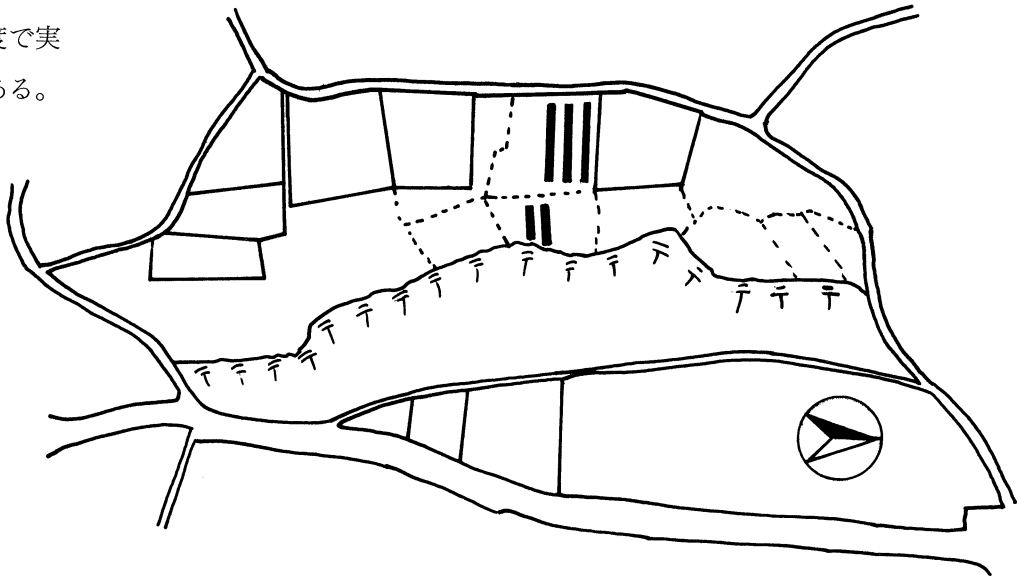


横大道遺跡位置図（○印）（1：10,000）

調査の結果

先ず、道路側の畑にトレンチ３本を設定し調査を行ったが、遺構・遺物は検出されなかった。その後、先に調査した畑の東側の畑２枚に２本づつトレンチを設定し調査を実施したところ、地下式土壙１基を検出し、遺物として中世の土器片・縄文時代中期の土器片を確認した。

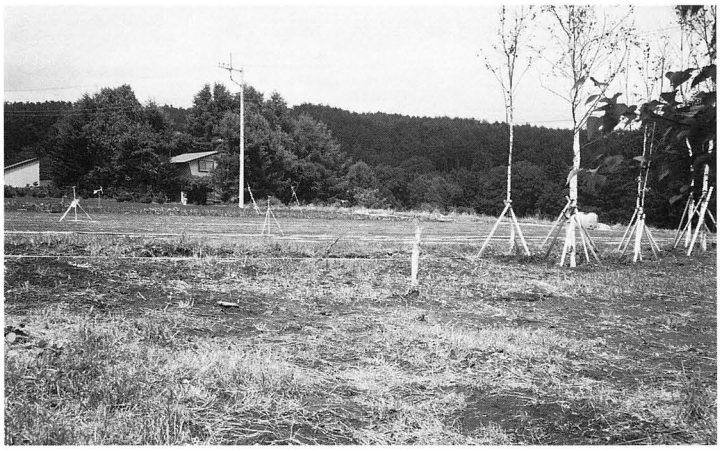
地下式土壙の調査は、平成11年度で実施する予定である。



横大道遺跡　トレンチ設定図（1：3,000）

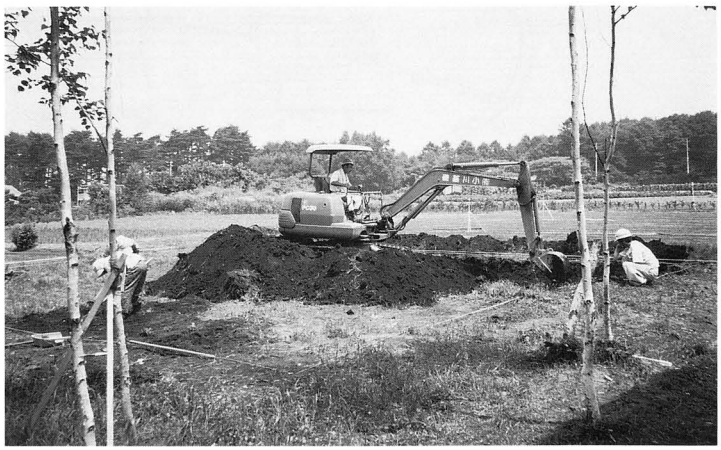
写図１　上前後沢第２遺跡

遺　　跡



遺　跡　近　景

重機による表土剝ぎ



写図２　上前後沢第２遺跡

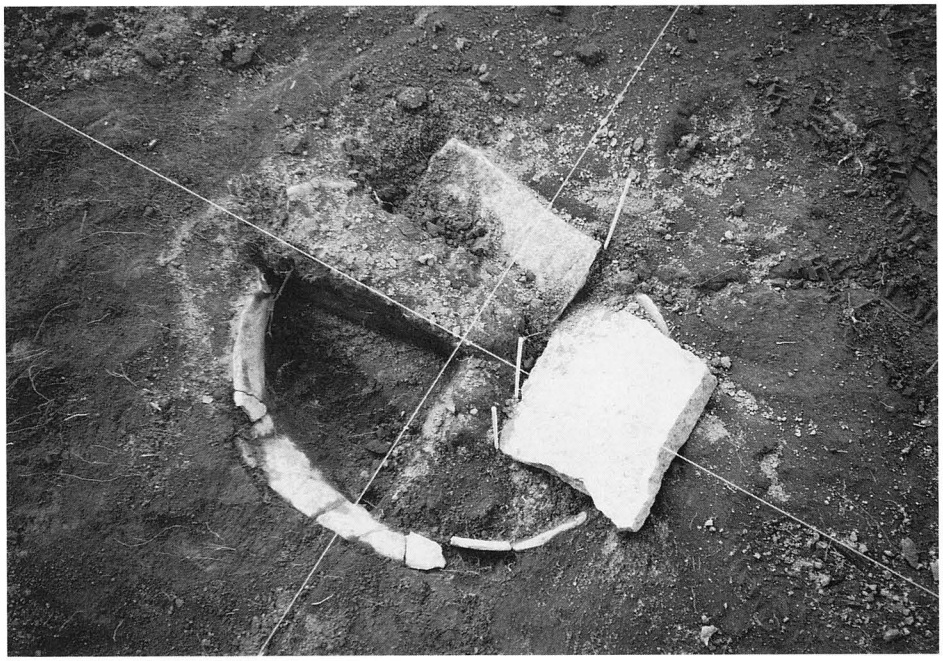
近　　景

発　掘　風　景

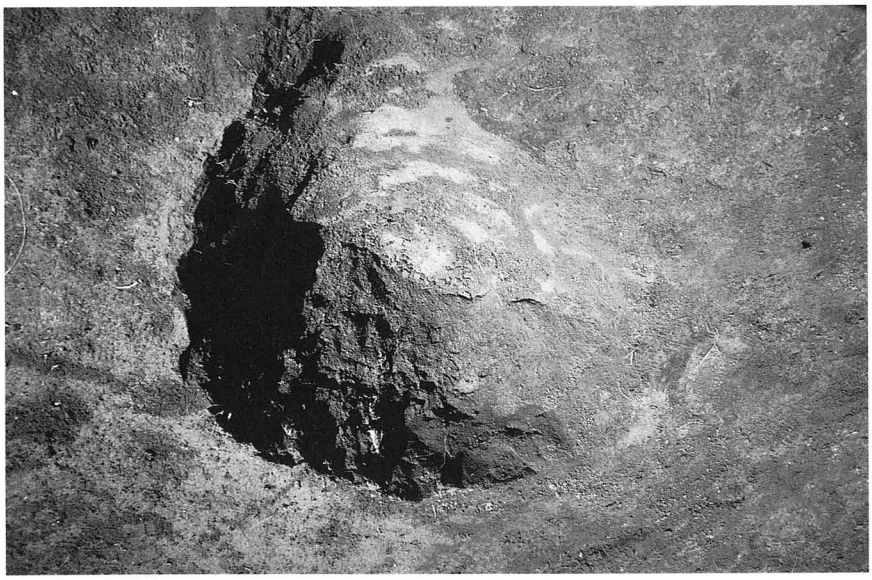
弥生前期単独埋甕

写図３　上前後沢第２遺跡

弥生前期
単独埋甕
(1)



弥生前期単独埋甕　(2)



弥生前期単独埋甕　(3)

写図4　耕地久保遺跡

重機によるトレンチ設定

トレンチ精査

トレンチ

トレンチ

写図5　高　野　遺　跡

遺　跡　近　景 (1)

遺　跡　近　景 (2)

調　査　風　景

写図6　西堀込北遺跡

遺　跡　近　景

調　査　風　景

写図7　殿　平　遺　跡

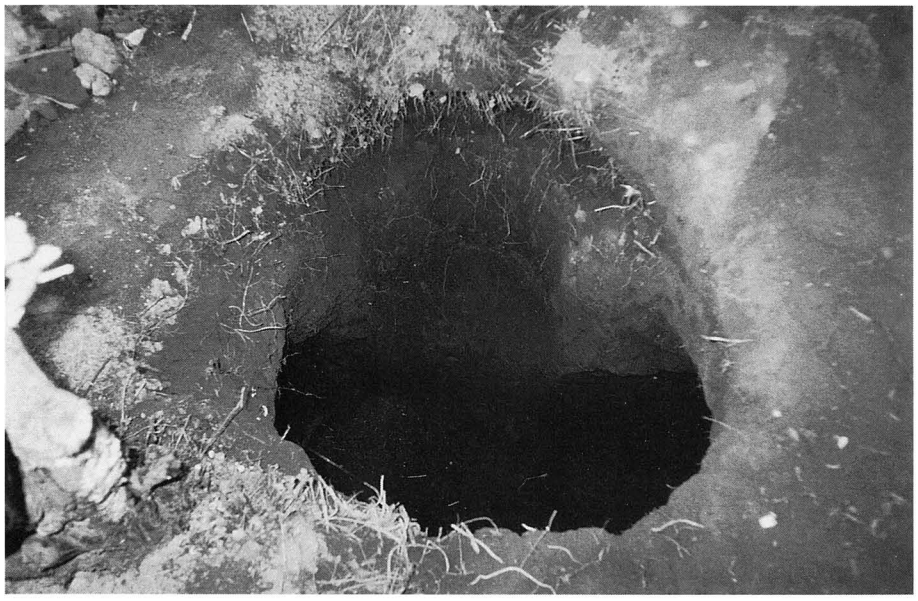
調　査　風　景

ト　レ　ン　チ

写図8　上八里田遺跡

調査風景(1)

調査風景(2)



地下式土壙

写図9　前　窪　遺　跡

トレンチ

トレンチ

写図10　上前後沢4267番地遺跡

遺　跡　近　景 (1)

遺　跡　近　景 (2)

トレンチ

写図11　源氏籠781番地遺跡

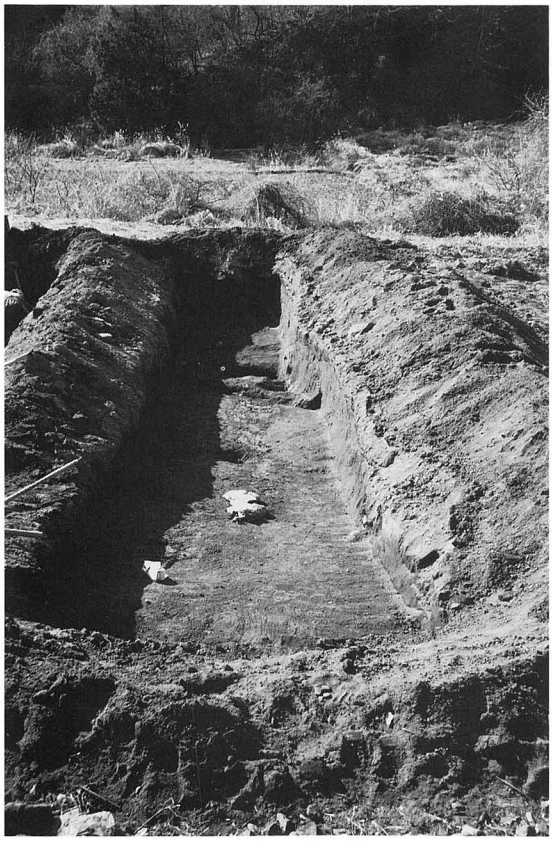
遺　跡　近　景 (1)

遺　跡　近　景 (2)

調　査　風　景

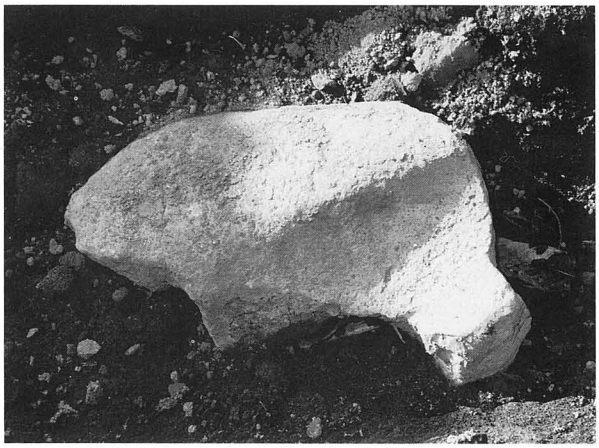
写図12　源氏籠781番地遺跡

トレンチ



トレンチ

土器出土状態

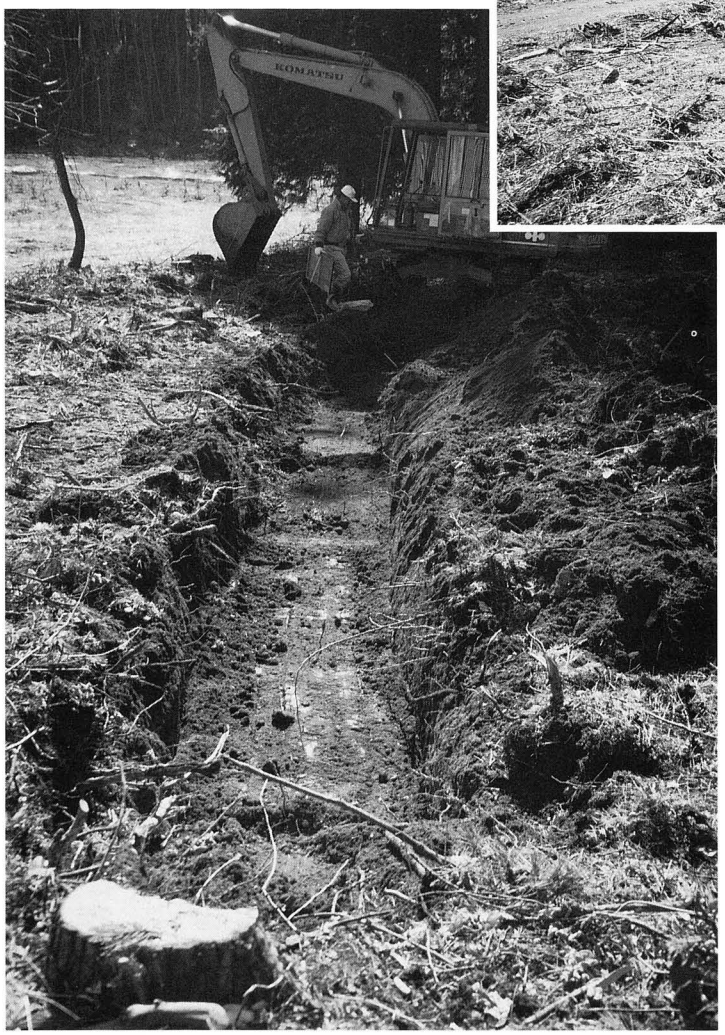


石皿出土状態

写図13　夏　秋　遺　跡

遺　跡　近　景 (1)

遺　跡　近　景 (2)



トレンチ

報告書抄録

ふりがな	へいせいじゅうねんどこぶちさわちょうないまいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ
書名	平成10年度小淵沢町内埋蔵文化財調査報告書
副書名	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	佐藤勝廣
編集機関	小淵沢町教育委員会
所在地	〒408-0044　山梨県北巨摩郡小淵沢町7711番地
発行年月日	平成11年（1999）3月31日

所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	調査期間	調査面積m²	調査原因印
天神宮遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町字天神宮3353-13番地				980511 ～ 980514	個人住宅建設
岩窪遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町字岩窪前4824-1番地				980616	倉庫建設
上前後沢第2遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町字上前後沢4253-2番地				980701 ～ 980718	個人住宅建設
耕地久保遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町下笹尾字耕地久保783-2番地				980702	個人住宅建設
高野遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町字船窪6813・6814-1番地				980714 ～ 980721	個人住宅建設
西堀込北遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町上笹尾字西堀込北187-85番地				980721 ～ 980722	個人住宅建設
殿平遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町字殿平6897番地				980729	倉庫建設
上八里田遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町字上八里田8041-1番地				980731 ～ 980817	畑耕作
前窪8712-2番地遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町下笹尾字前窪8712-2番地				981106	個人住宅建設
上前後沢4267番地遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町字上前後沢4267番地				981208 ～ 981217	個人住宅建設
源氏籠781番地遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町上笹尾字源氏籠781番地				981215 ～ 981225	畑耕作
夏秋2538-20番地遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町上笹尾字夏秋2538-20番地				990205	事務所建設
横大道遺跡	山梨県北巨摩郡小淵沢町字横大道7588番地				990301 ～ 990331	畑耕作

報告書抄録つづき

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
天神宮遺跡	散布地	中世～近世		内耳土器	
岩窪遺跡	散布地	縄文時代			
上前後沢第2遺跡	包蔵地	縄文時代～弥生時代	弥生時代単独埋甕	縄文時代中期土器片・弥生時代前期甕	
耕地久保遺跡	散布地	縄文時代		縄文時代中期土器片	
高野遺跡	散布地	縄文時代		縄文時代中期土器片	
西堀込北遺跡	散布地	縄文時代		縄文時代中期土器片	
殿平遺跡	散布地	縄文時代			
上八里田遺跡	散布地	縄文時代・中世	地下式土壙	内耳土器・かわらけ・宝篋印塔の九輪部・石鉢	
前窪8712-2番地遺跡	散布地	縄文時代			
上前後沢4267番地遺跡	散布地	縄文時代		縄文時代中期土器片	
源氏籠781番地遺跡	集落跡	縄文時代		縄文時代中期土器片・石器	
夏秋2538-20番地遺跡	散布地	縄文時代			
横大道遺跡	散布地	縄文時代・中世	地下式土壙	縄文時代中期土器片・内耳土器	

小淵沢町埋蔵文化財調査報告書第10集
平成10年度
小淵沢町内埋蔵文化財調査報告書

発行日　平成11年3月31日
編集
発行　小淵沢町教育委員会
〒408-0044 山梨県北巨摩郡小淵沢町7711番地

印刷　もえぎ企画書籍
〒394-0043 長野県岡谷市御倉町2-21番地
TEL 0266-22-4892